

配当年次・単位・授業形態	4年次	開講期	後期	選択	3単位	実習
授業科目（英名）	公衆衛生看護学実習Ⅱ（Public Health Nursing PracticumⅡ）					
担当教員名	◎尾崎 美恵子〔専任〕 伊藤 千春〔専任〕 神庭 純子〔専任〕 飯塚 ちひろ〔専任〕（◎は科目責任者）					
<p>〔授業の概要〕  地域で生活する人々の健康を支援する基礎的能力を養うために、市町村・職域・学校等さまざまな分野で地域看護活動がどのように展開されているか、その概況を把握します。</p>						
<p>〔到達目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で生活する人々の健康課題を理解する</li> <li>2. 保健所や市町村で行われている地域保健活動の体系を、地域特性と関連づけて理解する</li> <li>3. 地域看護活動を展開している保健所の役割と機能を理解する</li> <li>4. 地域における保健師活動の実際を見学し、保健活動の意義とその必要性を理解する</li> <li>5. 学校保健における看護職の機能・役割を理解する</li> <li>6. 地域で生活している個人・家族・集団の健康増進能力を高めるための支援活動の展開方法を理解する</li> <li>7. 健康課題を解決・改善するために、地域の人々・関係職者と協働する必要性を理解する</li> <li>8. 地域における保健・医療・福祉の連携のあり方を学び、地域保健活動におけるケアシステムの必要性と保健師の役割を理解する</li> </ol>						
授業計画						担当者
<p>実習期間：2020年5月11日～6月5日のうち3週間  実習内容・方法は実習要項を参照  担当教員：この科目は実習科目なので、すべて尾崎・伊藤・神庭・飯塚の4名で担当します。</p>						尾崎 伊藤 神庭 飯塚
成績評価と基準	評価表に基づいて総合的に評価します。詳細は実習要項を参照。					
履修上の注意	履修規定に定められた出席時間数を満たすこと（実習時間の4/5以上の出席）が単位認定の条件となります。詳細は実習要項を参照。					
全学年を通しての関連科目	公衆衛生看護概論、公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ					
〔ディプロマポリシーとの関連〕	本科目は、看護学部ディプロマポリシーの4.5.6と関連しています。					
教科書	公衆衛生看護概論および公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書					
参考書・参考資料等	適宜紹介します。					
オフィスアワー	担当教員は、実習期間中、教室や研究室、実習先施設において担当科目に関する質問を受け付けます。					